

# グループウェアを使用した情報共有システム

## 必要な機材

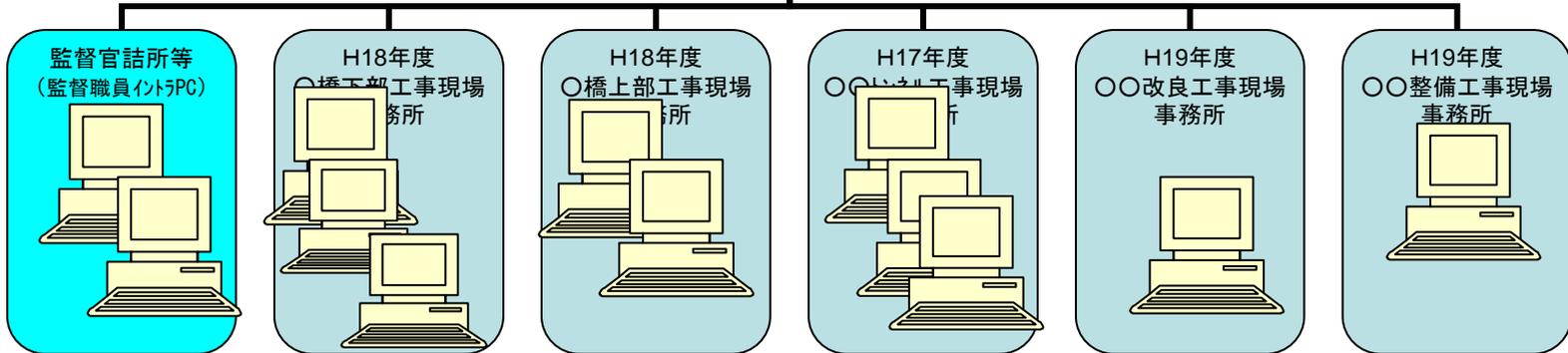
1. インターネット回線  
(FTTH接続が良好)
2. パソコン
3. Webブラウザ

## 共有可能な事項

1. スケジュール（工程等も）
2. 連絡事項
3. 電子データ  
(施工管理資料【協議簿等】)



インターネット接続



※ASPとは、アプリケーションサービスプロバイダ(Application Service Provider)の略称です。

※FTTH(Fiber To The Home)とは、アクセス系光通信(インターネット)の網構成方式です。

# 情報共有システムの運用について

- **情報共有**は、**発注者と施工者**、および**施工者間**で実施
- **「スケジュール調整」と「帳票の作成提出」**を中心に運用
- **ASPを使用した情報共有の活用**

## ～登録状況～

試行件数：**約240工事**(11月20日現在)

## ～PTによる検討～

発注者(情報共有システム利用の監督員、中出連)、技術補助者(協会等)、施工者(中部建設青年会議)による**課題の抽出と検討実施**

○現場技術員のアクセス検討

○検査時の紙データ提出(二重)と電子検査の検討

→ ASPによる書類共有を活用し事前書類検査の試行

○来年度以降の情報共有と、長期的な情報共有の仕様等検討